

「国見ヶ丘・吉成・南吉成地域の魅力再発見」

吉成市民センター×青葉区中央市民センター

1 事業概要

国見ヶ丘・吉成・南吉成地域の豊富な自然資源と歴史資源について学習し、その魅力を地域に伝えるため、ボランティア団体「くよみ郷土研究会」が発足。整備活動に携わる団体がいなくなっていた仙台青陵中等教育学校の学校林「青陵の森」の整備や自然観察、「中山街道」「芋沢街道」などの地域資源について学習しています。活動を通して地域資源について学び、その魅力を地域へ伝える人材を育成することを目指しています。

2 今年度の活動

今年度は仙台青陵中等教育学校の学校林「青陵の森」で活動しているNPO法人「珀杜（はくと）」と合同の自然観察勉強会を行い、学びを通して連携を深めました。

地域の歴史資源である古道「芋沢街道」学習の他、「中山街道」を根白石側まで街道歩きを行うなど、活動範囲を広げ、歴史資源の学習を積極的に行いました。

また、沖縄県で活動する「八重瀬町ガイドの会」の皆さんとオンラインを活用して研修会を行い、ガイドの手法や具体的な団体の運営方法などを学びました。



芋沢街道歩き



自然観察勉強会
～リースづくりの様子～



オンライン情報交換会



紅葉観察会

3 成果と課題

今年度は、これまでの学習成果をもとに地域の魅力を「よしなりまちまっぷ」にまとめたり、担当を決めて青陵の森の植物を観察し、その変化や特徴を会員独自の視点で「観察ノート」にまとめたりしました。

一般参加者を募集した「紅葉観察会」や、毎月発行の会報「くよみ通信」等の情報発信の効果により、今年度は新規会員が7名加入しました。会員全体の学習意欲は高く、青陵の森以外でも植物観察会を行うなど活動範囲も広がり、活発に活動しています。

一方で、学習成果を地域に発信することに関しては十分とは言えず、学習成果を自発的に様々な方法で伝えていけるよう、発信力を向上していくことが今後の課題です。



青陵の森
～定例観察会の様子～

4 今後の展望

「くよみ郷土研究会」は学習意欲が高く行動力に溢れており、楽しみながら地域を学ぶことを信条に活動を続けています。

今後はこれまで学習した成果を地域の人々に「伝え」「知ってもらふこと」の喜びを体感できる機会を多く設けていきたいと考えています。自然観察ガイドボランティアの育成等を行い、学習成果を地域に還元することを目指していきます。